

自由民主党墨田区議会議員 山本とある

4
2009

とある通信

TOORU TSUSHIN



お陰様で『山本とある』は5月1日で区議として丸2年を迎えることになります。任期は残り半分もっともっとパワーアップして突っ走り、皆様と共に“すみだの未来”を創って行きたいと思います。

今年度も、皆様には変わらぬご指導を賜ります様お願いを申し上げます。



墨田区も年明けから、色々な動きがありました！

01 区の緊急経済対策の策定、実施。 1月16日プレス発表

主に区内中小企業の経営の安定を図ること、区民が安心して生活できることを目的として…。経営安定資金の信用保証料を、区が全額負担。実質負担金利は0.2%で、6月30日まで受付予定。その他、区発注の公共工事の前倒し、前払い金の運用拡大（早めの対応）、臨時職員の緊急雇用など総額約9億円規模でありました。区長は、今後も状況を見て新たな対策も検討していく考え方をお持ちのようですが、早急に現在までの経過、実績を検証され、実施するなら、効果のある対策を早めに打ち出すべきです。

02 第一回定例会開催。 平成21年度墨田区予算成立 (一般会計で962億の予算規模)

2月12日から3月30日までの47日間という長い区議会でした。また9日間の予算特別委員会は、委員として連日の勉強、質問と精力的に活動いたしました。今後の墨田区財政は、厳しい運営を強いられることが取りをしつかりとしなければいけない！重要なことは、区民施策に影響し区民生活が後退することのない様、議員が注意深く見守る、区行政へ提言してゆく必要性を痛切に感じました。

04 「静養ホームたまゆら」にて火災事故。 墨田区から紹介の6名が死亡

3月19日、大変不幸な事故が発生してしまいました。犠牲となられた方々のご冥福をお祈りすると共に、区としての対応に誤りはなかつたのか？このやうな施設に依存度が高い本区の現状、反省の上での検証し、今後、国や都へ改善の働きかけを率先して行う必要があると思います。

05 定額給付金、プレミアム商品券等の事業準備 運用の開始

3月16日に臨時本会議を開き、補正予算を可決。直ちに給付の準備、プレミアム商品券の発行について、我が会派は区執行部と協議に入りました。喧々囂々議論伯仲、先輩方の姿勢は大変勉強になりました！（議論伯仲、先輩方の姿勢は大変勉強になりました！）

21年4月 墨田区役所、 新年度スタート！

06



21年度予算に対し、会派の代表として縷々意見を述べ賛成の表明を致しました。責任のある役割で、大変緊張ましたが、ほぼ徹夜で予算委員会において議論された内容を整理しながら原稿を書き上げ、無事に大役を果たすことが出来ました。特に言いたかったことは予算の堅実な執行はもとより、区長をはじめ区職員は区民の目線に立ち、「区民の利益に奉仕する役割」を自覚を持って完遂して欲しい！ということがありました。

03



その他のトピック

- ☆保育園の入園希望者激増（878人の定員に対し1320名の希望者）
- ☆墨田区観光協会、4月1日から法人化！（国際観光都市すみだをリードする組織と期待！）
- ☆学校跡地の活用について多くの議論が展開されました。（特養ホーム建設や大学の誘致など…）
- ☆墨田区介護保険料率の決定（23年度までの保険料が定まる。保険料の大幅な上昇はナシ…）
- ☆国際ファッショングセンター(株)に貸し付けている区有地を同社に売払うことを決定！
- ☆小中学校の全教員にパソコンを配布。教育のICT化を図る。（約1000台）

4

2009

自由民主党墨田区議会議員 山本とおる
とおる通信
TOORU TSUSHIN

いよいよ春本番、優しい日差し、心地よいそよ風、一年で最も過ごしやすい季節の到来です。

4月に入って新一年生の入学式。その姿は初々しくて、微笑ましくて見ていると、とても嬉しくなり思わず「がんばってね！」と声を掛けたくなります。一方では厳しい、暗いニュースばかりが報道される今日この頃ですが、早く吹き飛ばして、今年度こそ明るい1年でありたい、今の季節のような「さわやか感」、「プラス思考へのチェンジ」を速やかに実現しなければと強く思います。お陰様で『山本とおる』は5月1日で区議として丸2年を迎えることになります。任期は残り半分もっともっとパワーアップして突っ走り、皆様と共に“すみだの未来”を創って行きたいと思います。今年度も、皆様には変わらぬご指導を賜ります様お願いを申し上げます。

山本とおるの提言



★押上の踏切の立体化を大至急実現しないと…

21年度予算もタワー関連事業が目玉ですが、この踏切の解消は今後の区内観光にとって必要不可欠です。1年半前の一般質問で私が指摘し、700万、昨年2100万、今年も3600万の予算がついて検討する事になりますが、動きとやる気が甚だ不十分に見えてなりません！

2012年の新タワー街開きに大渋滞、交通パニックが起きてはならないと、今後も国、東京都を含め区行政に提言をし続け、1日でも早く立体化を図る原動力として努力して行きます。

★平成27年には区民4人に一人は65歳以上の高齢化率…

私は、今後の墨田区政の最重要課題は高齢者施策のメニュー化と充実、予見の下でのしっかりとした準備、施設建設も含めた整備であると考えています。

区の行政運営や財政は、一定のバランスが保たれています。しかしながら高齢者施策の行政ニーズは数年のうちに現段階の予想以上に、飛躍的に伸びると断言します！その時点で準備しておけば良かったという後悔はしてはならないのです。

またバランスが崩れ、他の大事な施策や事業に大きな影響をもたらすと予測します。

今が苦しくても、すみだを支えて下さった皆さんの為に、“安心して生活できる墨田区”の実現に向かって直ちに準備作業に入るように提言を続けて行こうと考えています。

★行政評価は外部の目、区民の声を反映できるシステムに！

これも議員にならせて頂いて以来、ずうっと言い続けてきた、区の施策、事業の行政評価が今年度から導入されます。一つの進展ではありますが、区の答弁は役所内部による評価をまず実施するというものでありました。私は、区民の満足度や実態、生の声を反映できる制度にしたいと思います。

MAKE NEW すみだ！！

これからも皆さんに分かり易く伝え、皆さんの声を区にしっかりと届けて、区議会議員としての役割を果たしていくなければと、心を新たにしている“春”であります。

墨田区議会議員 山本 とおる



自由民主党墨田区議会議員 山本とおる
とおる通信
TOORU TSUSHIN